

留 学 報 告 書

記入日:2019年6月3日

所属学部／研究科・学科／専攻	理工学部
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネブラスカ大学オマハ校 現地言語: University of Nebraska Omaha
留学期間	2018年8月～2019年5月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年5月8日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月上旬～12月上旬 2学期:1月上旬～5月上旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	15526
創立年	1908

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	5950	595000円	
食費	2500	250000円	
図書費	100	10000円	
学用品費	20	2000円	
教養娯楽費	0	円	
被服費	180	18000円	
医療費	0	円	
保険費	2167	216700円	形態:留学生必須
渡航旅費	2000	200000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	12917	1291700円	

渡航関連

渡航経路: 往路: 成田→シカゴ→オマハ 復路: オマハ→ダラス→成田

渡航費用

チケットの種類 オープンフィックスチケット

往路 _____

復路 _____

合計 _____ ¥200000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

h.i.s を利用しました。渡航費は結構高いので渡航日が決まったらすぐに予約した方がいいと思います。安いチケットだと経由地が多くなるので、飛行機の移動に慣れていないと大変だと思います。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 4)

3)住居を探した方法:

大学のサイトを使って探しました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ルームメイトは留学中大事なのでちゃんと考えて決めた方がいいと思います。university village は寮では一番良かったです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

ルームメイトにまず相談しました。相談窓口はありましたが、たらい回しにされてしまうことが多々ありました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在留届を出したところから情報を収集していました。オマハは他の都市に比べ比較的安全だと思いました。大学内の公園で誘拐が起きた時は大学から気をつけてくださいというメールを受け取りました。盗難等の犯罪には巻き込まれませんでした。ロサンゼルスやニューヨークなどの大都市では危険に感じることがあり、旅行に行く際は気をつけた方がいいと思います。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

セメスターに二、三回繋がらないことがありましたが、寮のインターネットは安定していました。アメリカは無料 wi-fi が日本に比べ多かったです。携帯電話はソフトバンクに変えるか、日本にいるうちに契約しといた方がいいと思います。私は h2o を使っていました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本でクレジットカードを作りそれを使っていました。一応アメリカでも口座を作りました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本の食べ物は持っていった方がいいと思います。アジアンマーケットでほとんど買えますが、好きな食べ物は持って行った方がいいです。風邪薬も持って行った方がいいと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航後のオリエンテーションで説明がありました。大学の mavlink というサイトで払いました。

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input checked="" type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
特にありません。
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
院進学を考えているのでよくわかりません。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
まだ決まっています。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
29 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 成績証明書が届き次第、単位認定の手続きをするので現時点でわかっていません。 ? 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
CS PRINCIPLES	情報工学基礎
科目設置学部・研究科	Computer Science
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	? 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Jon Youn
授業内容	code.org というサイトを使ってプログラミングの基礎を学ぶ
試験・課題など	code.org をどんどん進めるような感じだったので次の授業までにここまで終わらせるようにという感じだった。中間期末のような堅苦しい試験はなかった。
感想を自由記入	英語で自分の興味のあるプログラミングについて学べてとても良かった。韓国人の先生なので、英語も聞き取りやすく、一番はじめの学期に履修して良かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRO TO CS I	基礎情報工学 1
科目設置学部・研究科	College of IS&T
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	?単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Sandy Vlasnik
授業内容	java の基礎を学ぶ
試験・課題など	課題は提出期限を決められたプログラミングの宿題を 8 個出された。試験は 4 個オンラインであった。
感想を自由記入	プログラミングの宿題をオンラインで提出し、すぐに結果がわかった。明治大学だとコードを印刷し先生に提出するという流れだったので、アメリカの大学はすごいと思った。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRODUCTION TO PSYCHOLOGY I	心理学基礎
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	?単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Christopher Gade
授業内容	心理学全般について
試験・課題など	一週間ごとに reading と quiz と essay を書く課題があった。試験は 3 つあった。
感想を自由記入	毎週毎週 youtube で授業を受け、それを元に quiz や essay を書く感じだったので面白かった。オンラインなので負担が少ないだろうと思っていたが、この授業がこの学期の中だと一番大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Science and Critical Thinking	科学と批判的思考
科目設置学部・研究科	Natural Sciences
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	?単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 105 分が 2 回
担当教授	James A Wilson
授業内容	擬似科学と本当の科学の違いについて色々な視点から考察する。
試験・課題など	試験は 4 つあり、大変だったが全て multiple choice だったのでなんとかなった。課題は extra credit として英語のラジオを聞き内容をまとめるものがあった。
感想を自由記入	とても情報量が多く、比較的他の授業に比べ日本の一般的な授業に似ていた。しかしそれを全て英語でこなさなければならなかったので、暗記の質が落ちてしまっていた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
FOUNDATNS IN PUBLIC HEALTH	公衆衛生基礎
科目設置学部・研究科	Helth Education
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	?単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に160分が1回
担当教授	Richard D Stacy
授業内容	アメリカの公衆衛生を中心に学ぶ。
試験・課題など	試験は二つあり、study guide が渡されたのでそんなに困ることはなかった。課題は特にはなかった。
感想を自由記入	アメリカのこと中心であり、公衆衛生は日本では学んだことがなかったので、授業についていくのに苦労した。先生がとてもいい人だったのが救いだっただ。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
ELEMENTARY MANDARIN CHINESE II	中国語基礎 2
科目設置学部・研究科	Chinese
履修期間	1 セメスター
単位数	5
本学での単位認定状況	?単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に125分が2回
担当教授	Sherry Ma
授業内容	中国語の基礎を教科書に沿って学ぶ。
試験・課題など	毎回中国語の漢字の書き取りなどの課題が出て、小テストもたくさんあった。試験は各章が終わるごとに行った。
感想を自由記入	日本の語学の授業の形式ととても似ていたのでやりやすかった。2 から受け始めたのでピンインが大変だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRO TO WEB DEVELOPMENT	ウェブ開発基礎
科目設置学部・研究科	College of IS&T
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	?単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に105分が2回
担当教授	Sriram Srinivasan
授業内容	html や css などのウェブ開発の基礎
試験・課題など	試験は3回あり、選択問題とコードを書く部門で構成されていた。課題は指示にそってウェブサイトを作るものだった。
感想を自由記入	ウェブ開発の基礎を知ることができてとても面白かった。先生のインド系の訛りが凄くはじめはリスニングに苦労した。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRO TO CS II	情報工学基礎 2
科目設置学部・研究科	Computer Science
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	?単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回
担当教授	Sandy Vlasnik
授業内容	Intro to CS I に引き続き java の基礎
試験・課題など	試験は 3 つあり、筆記のテストだった。自分で英語で答えを書かなければならないところが多かった。課題は Intro to CS I に引き続きインターネットで提出するプログラムの宿題があった。
感想を自由記入	専門的な分野のことを試験で英語で回答しなければならないことがとても難しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
INTRODUCTORY SOCIOLOGY	社会学基礎
科目設置学部・研究科	Sociology
履修期間	1 セメスター
単位数	3
本学での単位認定状況	?単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Lara Y. Tewksbury
授業内容	社会学的観点を構成する基本的な概念と理論
試験・課題など	毎週教科書の指定された範囲を読み、日曜日までにクイズに答え、ディスカッションボード上でお題に関してみんなでディスカッションをする。試験は 3 回あり multiple choice だった。
感想を自由記入	毎週のリーディングの範囲が広くとても大変だった。

留学に関するタイムチャート

2017年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL 勉強
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	交換留学用の書類の作成・提出
2018年 1月～3月	英語の勉強
4月～7月	渡米前の留学各種手続き(航空券手配、寮の申し込み、ビザ申請、秋学期の履修登録、パッキング準備など)
8月～9月	渡米 秋学期開始
10月～12月	秋学期の中間試験・期末試験 冬休み
2019年 1月～3月	春学期開始 春学期の中間試験
4月～7月	帰国
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	子供の頃からなんとなく留学しようと考えていました。幼稚園生の頃に行ったラスベガスで、アメリカのスケールの大きさに感動し、アメリカに留学してみたいと漠然と思っていました。英語ができるようになれば、視野が広がると思った理由の一つです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力は異国で生活する上で欠かせないものです。授業の課題で分厚い教科書を読まなければならなかったり、先生や友達の英語を聞き理解し会話しなければならないので英語の4技能全てが大切です。語学力以外では行動力や一人で暮らすことのできる能力も大切だと感じました。実家に住んでいたのも、料理や洗濯など当たり前をやってもらっていたことを自分でやらなければならなかったのが初めの頃は特に大変でした。
この留学先を選んだ理由	まず、内陸なので同じ日本人が少なく、たくさんの外国人に囲まれて生活できると思いました。実際は割と日本人がいて驚きました。4年間アメリカの大学で勉強する人や短期留学の日本人がいました。安直な考えですが、アメリカの真ん中に位置しているので、東西南北いろいろなところに旅行できると思っていたのも理由の一つです。アメリカで実際に生活してみて改めて感じたのですが、アメリカという国は想像より遥かに大きく車も持っていない一留学生には到底まわりきれないようなまさにスケールの大きい国でした。
大学・学生の雰囲気	大学の雰囲気はとてもよく、緑も綺麗だったので天気のいい暖かい日には日光浴をしながら勉強している人をチラチラ見かけました。土地がたくさんあるので大学のキャンパスも日本に比べ広がったです。合計で2つのキャンパスがあり間の移動はシャトルバスでした。学生の雰囲気は自由な感じでした。
寮の雰囲気	寮のクラブハウスでは週に数回イベントが行われており、初めの頃はよく行っていました。フリーフードが配られるイベントもやっていました。寮の中身は大学のサイトにある通りな感じでした。ルームメイトは留学中交流があるので慎重に決めた方がいいと思います。
交友関係	留学当初は言葉に自信がなく、すぐに英語が出てこなかったのが友達の輪の中に入れてないと思うことが何度かあり辛かったです。語学力向上(特にリスニングとスピーキング)により、友達を仲良く遊ぶことができるようになりました。留学中にいい外国人の友達を作れてよかったです。
困ったこと、大変だったこと	英語と料理が大変かったです。留学前は日本は世界的にも有名な国でみんな興味関心を持っているのかなと思っていたのですが、実際はそうでもなかったです。日本に興味のある外国人と一緒にいると自分に質問してくれるのでその会話の中で英語力向上できると思います。途中からは英語が聞け、自分で返事を考えられるようにはなったのですが、適切なタイミングで返事を発言するのがとても難しく歯がゆい日々を過ごしていました。料理のことはたくさんお母さんに聞き助けてもらいました。
学習内容・勉強について	私はコンピューターサイエンスを専攻していました。先生の英語がとても早く、課題の提出期限やテストの形式など重要な内容を初回の授業の時に把握しなければならなかったのが大変でした。授業前に授業と同じ時間くらいのオンラインの動画を見て授業中には先生がわからないところを解説するような授業を取っていたので動画を何度も見返すことができたり、字幕を表示することができてよかったです。
課題・試験について	課題量は授業によってまちまちですが、多い授業や多い時期は大変でした。試験は自信がなかったので電子辞書持ち込みについて打診してみたら大体の先生は許可してくれました。そのおかげで気持ちに余裕ができ安心して試験に臨むことができました。

大学外の活動について	Friends of Japan というサークルに所属していました。日本に興味のある外国人と同じ日本人がたくさんいて居心地が良かったです。何回か現地の日本語学校のボランティアにも参加しました。Global Friends という留学生向けの団体にも顔を出し現地の人や他の留学生とも交流を深めました。
留学を志す人へ	留学は一昔前とは違い結構な人がしている時代です。留学をするだけで英語がネイティブ並みになることは無理だと思うので、留学を志した時から地道に努力していったほうがいいと思います。帰国後にこのレポートを書いているので、帰国してからは英語に触れる機会が極端に減ってしまうので留学中も積極的に自分から行動を起こしていったほうがいいと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
	授業	朝食	授業	朝食	朝食	朝食	朝食
午後	昼食	授業	昼食	授業	昼食	昼食	昼食
	ジム	課題	課題	ジム	ジム	買い物	ゲーム
夕刻	授業	課題	授業	授業	課題	買い物	友達と料理
夜	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

